

# 女性議員ネットワーク

## 県内超党派 25日に設立総会

### 参画推進へ環境づくり

県内の女性地方議員の有志が学びと相互援助を目的とした超党派のネットワークを立ち上げる。45人(県議2人、市町議43人)いる女性のうち、24人が参加を予定。学習会などを通して、地域課題に女性をはじめとした多様な視点をどう生かしていくか考える。立候補や議員活動をしやすい環境づくりで力を合わせる。25日に大分市で設立総会を開く。



大分県市町村女性議員ネットワークの設立に向けて話し合う各議会の女性議員＝7月、大分市議会

県内では、臼杵市議の匹田久美子さん(58)＝2期＝の呼びかけで、3年ほど前から新人女性議員の有志が情報交換の会合を定期的に開催。男性が多い議員生活での不安や疑問を共有するなどしてきた。

新組織はより幅広い女性議員が参加する場をつくらうと、アドバイザーとして活動に関わってきた竹田市議会議長の佐藤美樹さん(49)＝3期＝が中心となり、準備を進めた。

名称は「大分県市町村女性議員ネットワーク」。設立総会はJCOMホルトホール大分で開き、規約や事業計画、役員などを決めた後、記念講演を予定している。

活動は講師を招いた学習会や、一般市民にも参加を募るシンポジウムが柱となる。女性議員同士の精神的な支え合いや連帯感づくり、議員としての実力を磨く場にしていく。

国の調査(昨年12月時点)によると、大分県議会の女性議員比率は全国最下位の4・7%(議員数43人中2人)。市議会は12・3%(合計議員数293人中36人)で下から7番目。町村議会は11位の16%(同50人中8人)となっている。

九州では福岡、熊本、宮崎など超党派の女性議員グループによる活動が盛んな県がある一方、これまで大分県は低調だった。

女性議員は議会の内外で、無意識のセクハラ、性別を理由にした偏見やバッシングを受けることが少なくないといった状況もある。

匹田さんは「女性にも政治は男性のものという固定観念を持つ人がまだいるのも現実。ネットワークの取り組みにより、地方議会への女性参画が進む環境づくりに努めたい」と話している。(徳光瑞稀)